



新天町商店街活性化計画
～参道型の商店街～

広島大学	井田 遼介
弘前大学	佐々木 望
東京大学	南 知賢
東京大学	マリヤム・ファルハディー
明治大学	藤田 健児
関西大学	和田 麻佑

《7つの提案プロジェクト》

宇部新川駅周辺整備計画

『彫刻の森ステーション』

市街地内集合住宅街区計画

『育つまち「宇部」』

市役所周辺の環境整備計画

『新川square』

国道190号沿道の景観計画

『ナカニワガイロ
～国道190号再生計画～』

シンボルロードのにぎわい核づくり計画

『であうべ』

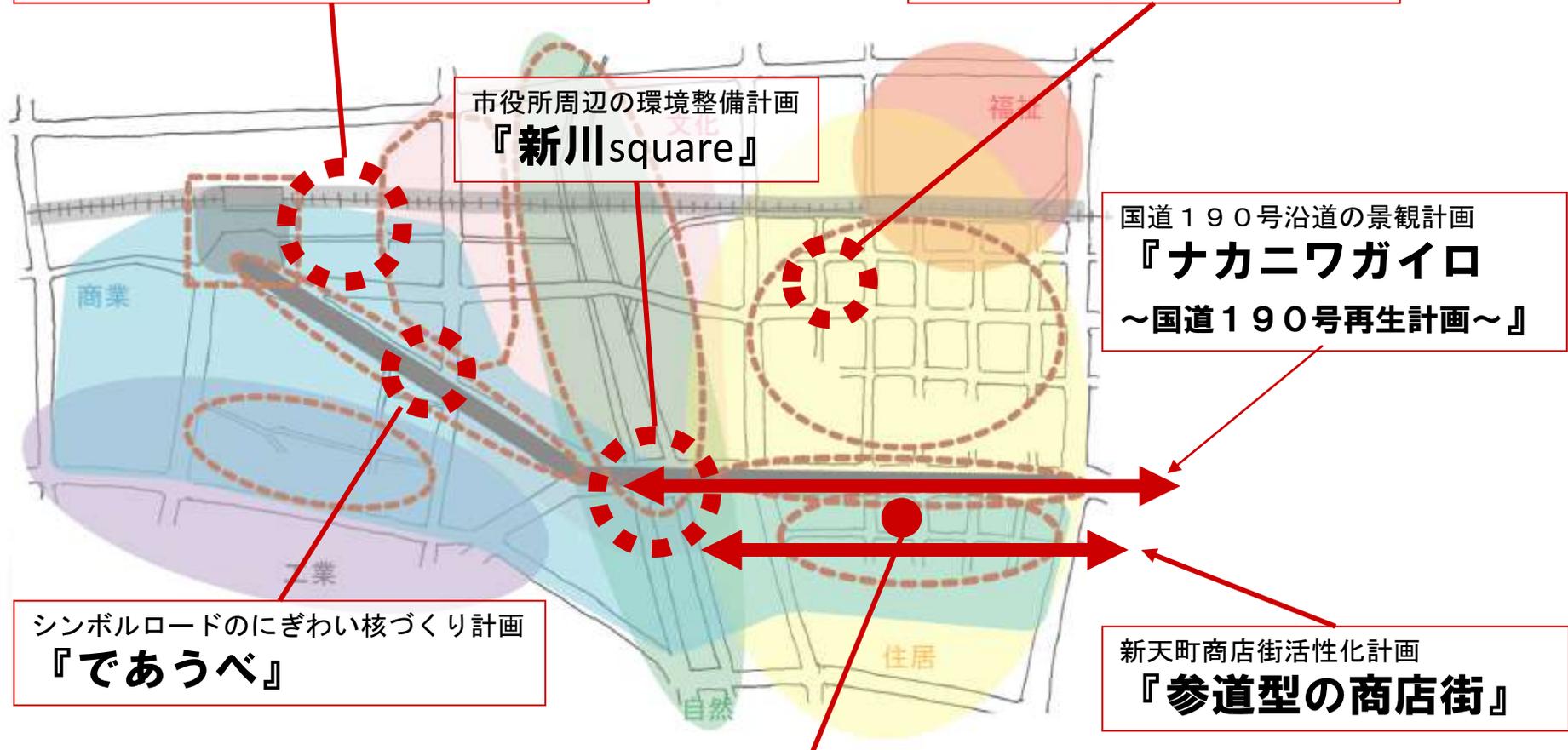
新天町商店街活性化計画

『参道型の商店街』

えびす街区再開発計画

『えびす街区再生構想

～出逢いに出会えるまち～』







ヒアリング→調査→問題点

- ・商店街全体での問題意識の共有化ができていない。
- ・若い人や観光客を引き付ける魅力がない。
- ・人の流れ、交通の流れが乱れている。
- ・商店街に神社と寺がある。
- ・宇部市内を一巡する電気バスを通す計画がある
- ・商店街を横切る道路(動線)がある。
- ・祭りの中心となる中津瀬神社の存在
- ・歴史をあまり知らない。
- ・昔、参道があった。

提案



住民の心の拠り所となる商店街に沿った中津瀬神社を活用することにより、商店街の魅力を引き出す。

+

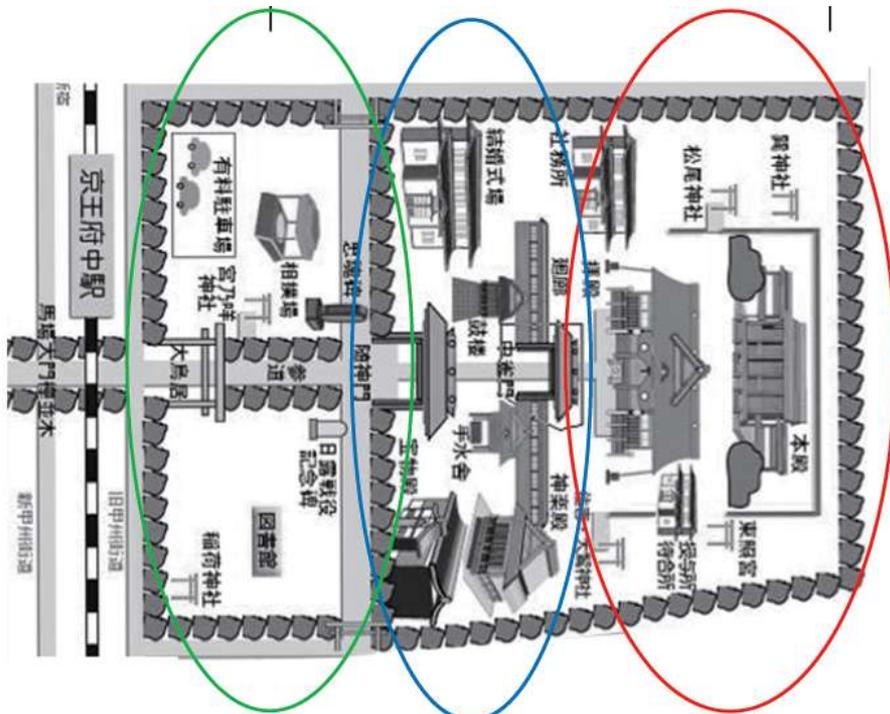
Past (戦前) 商店街の歴史の活用

Present (戦後)

↓

参道型商店街の提案

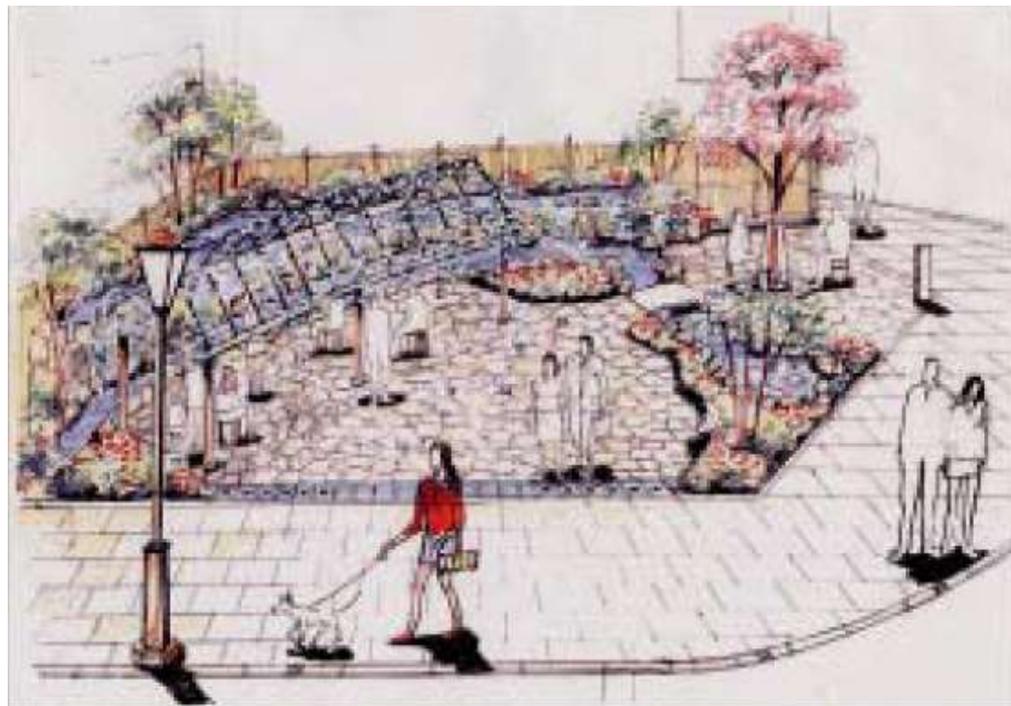
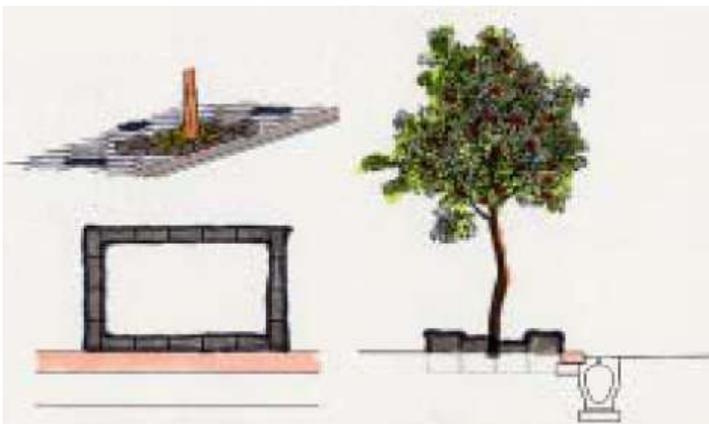
参道の分析



空間の場面転換 空間の緊張感 流れ・ただよう

典型参道の要素

- ・ 石畳、緑、土、水
- ・ 単独的な要素: 鳥居、燈ろう、旗
- ・ 垂直方向のメリハリ-レベル変化-:
段差、階段
- ・ 水平方向のメリハリ: 曲線、テクスチャーの変化



記憶の参道



参道の代表的断面





現代の参道(緑)



現代の参道(彫刻)

参道の魅力とは
空間の場面が展開していくことである。



新天町商店街で起こる空間の場面展開を演出する。

商店街における重要な拠点



①

②

③



- ・商店街の象徴である神社の境内
- ・南北と東西が交差している点

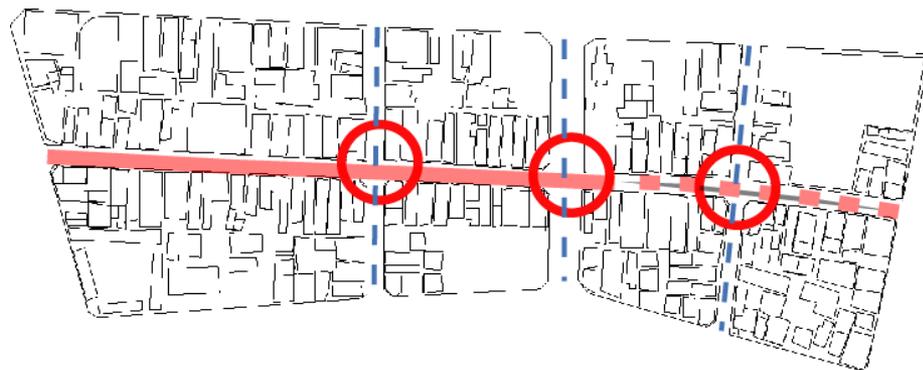
各拠点の提案—中津瀬神社

境内



象徴ではあるが、ここだけで完結はしない。

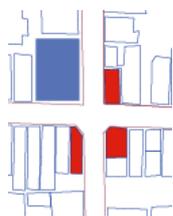
各拠点の提案



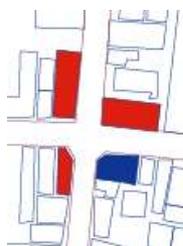
①

②

③



①情報の拠点
人の動きの玄関口
情報を得る。



③活動の拠点
集会やワークショップ
など人の活動の
場所となる。

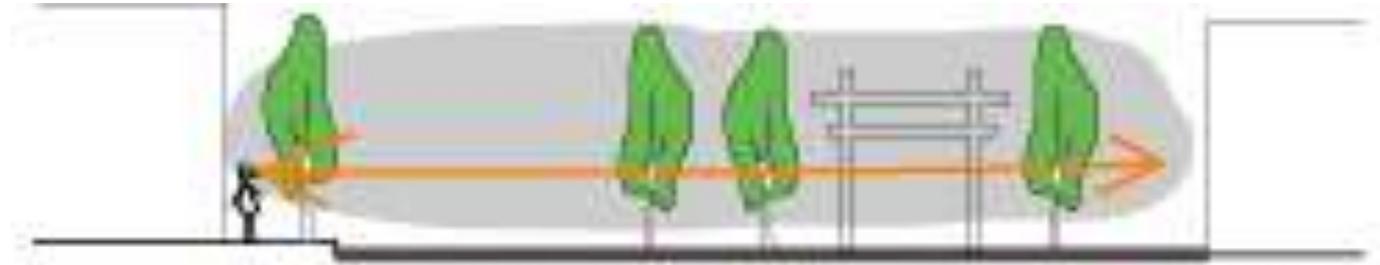
②伝統・表現の拠点

役割を補う

境内

3つの拠点が作用することで、商店街の活性化のきっかけとなる。

結節点の建物デザインの提案①



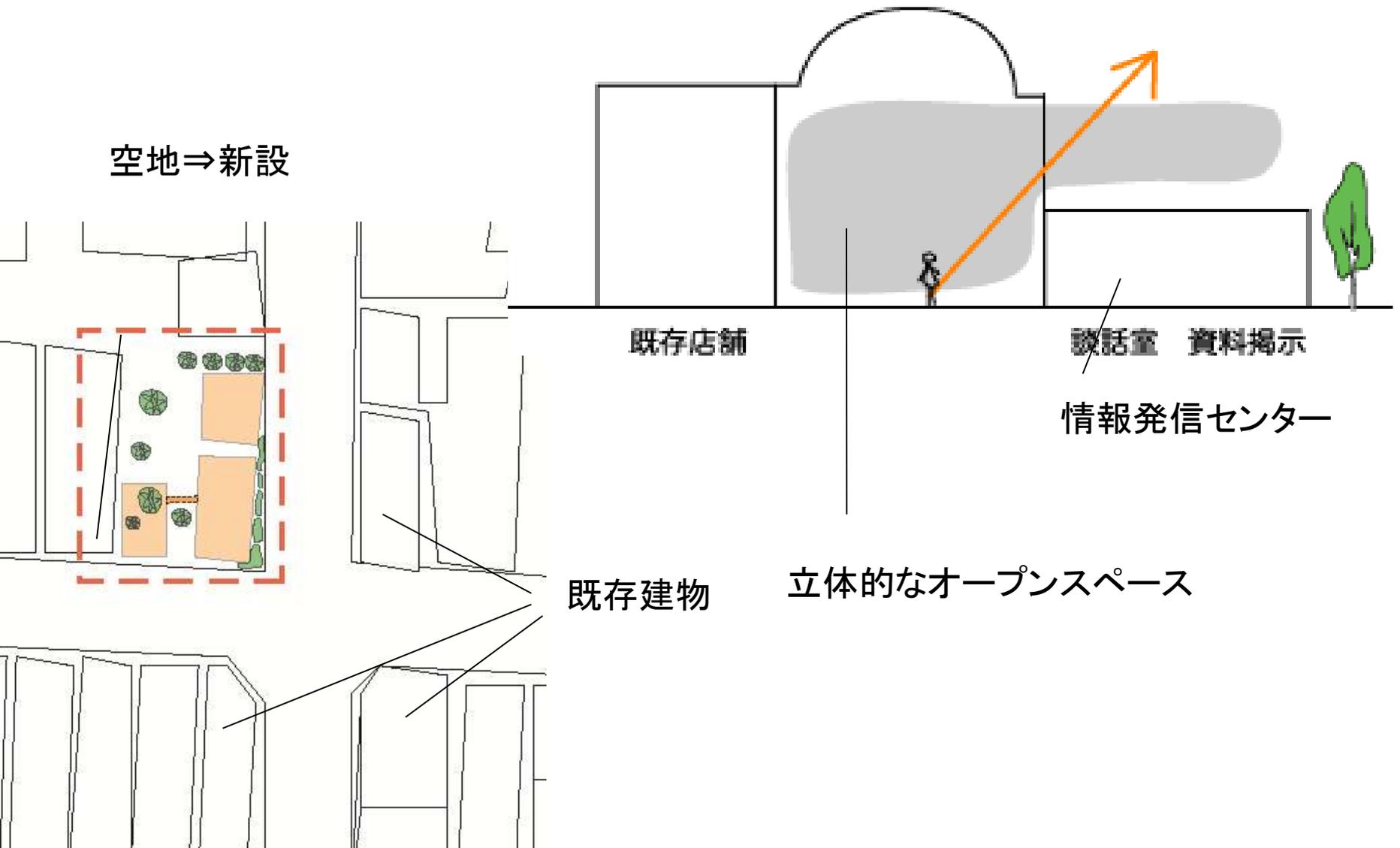
既存店舗





伝統・表現の拠点

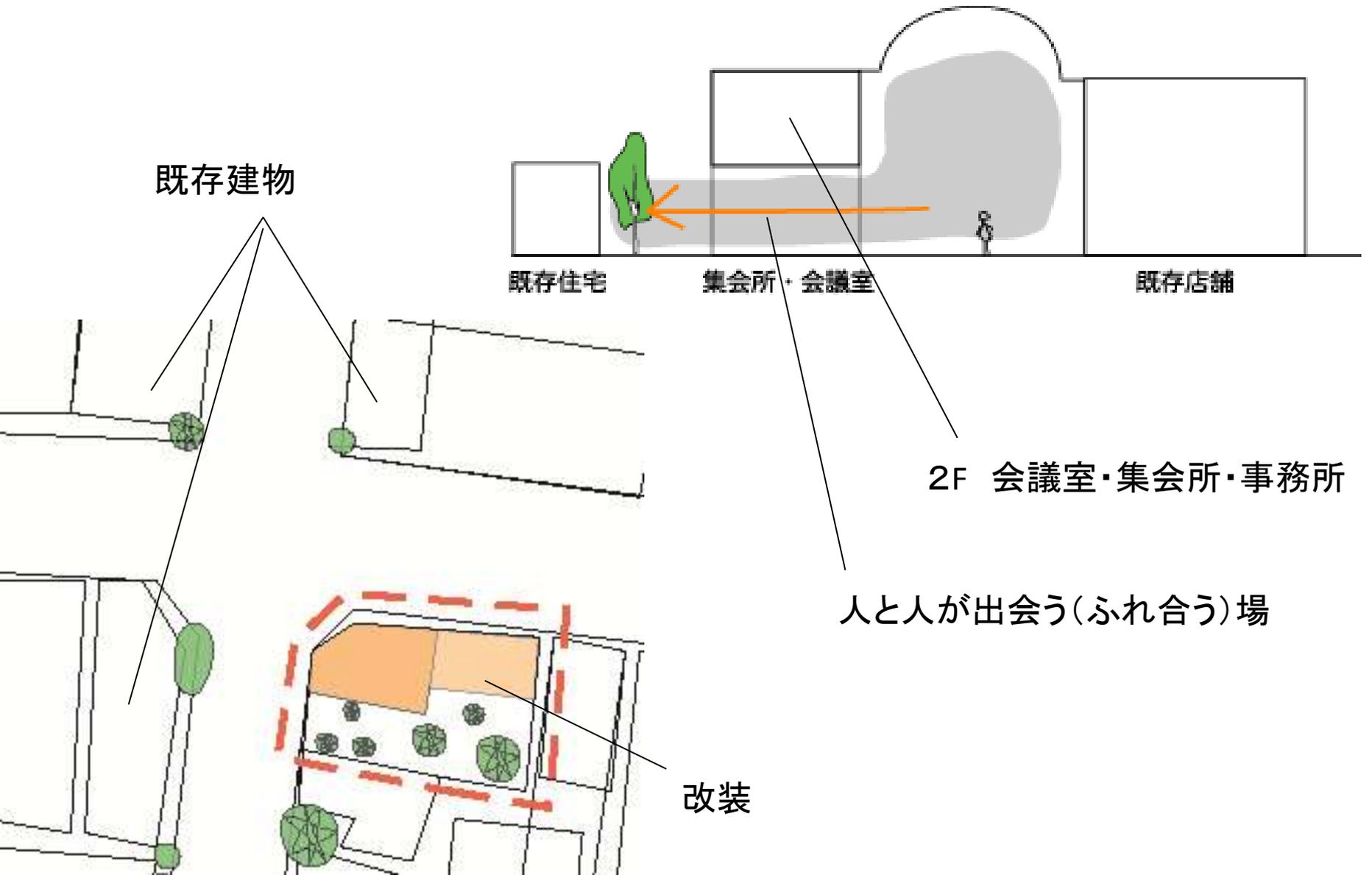
結節点の建物デザインの提案②





情報の拠点

結節点の建物デザインの提案③





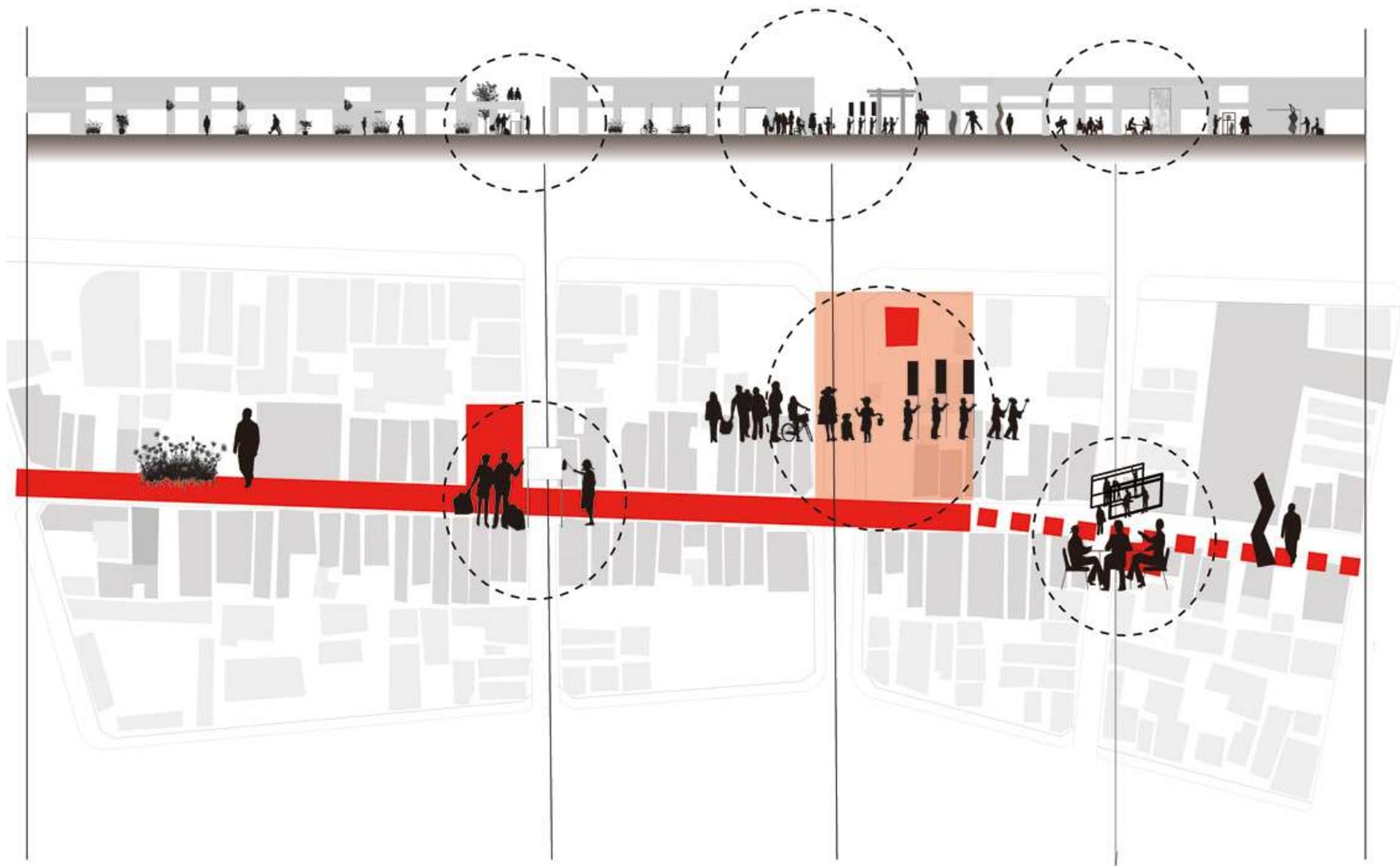
活動の拠点

現

①

②

③



現

参道の魅力とは
空間の場面が展開していくこと



情報の拠点

活動の拠点



現代の参道(緑)

伝統・表現の拠点

現代の参道(彫刻)

現

参道の魅力とは
空間の場面が展開していくこと



情報の拠点



活動の拠点

新天町商店街は宇部の財産として生まれ変わる。



現代の参道(緑)



伝統・表現の拠点



現代の参道(彫刻)